

大会申し合せ事項

1. 登録について

- ①試合に出場する選手は指定された期日までに所属連盟に選手登録をしなければならない。
- ②不正登録により選手資格を得た者はこれを取り消す。

2. 名札について

大学名及び個人名を記入した名札を着用しない選手は出場できない。同じ大学に登録された同姓者がいる場合は、苗字の右下に名前の1文字を入れること。なお、上記の該当する選手が発覚した場合は、不正用具使用者として扱い、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。

3. 竹刀に関して

- ①竹刀検査は、所定時間内に竹刀検査場において検査済みシールの貼付を受けること。
- ②竹刀検査は、男女共、大会前日（金曜日）及び1日目（土曜日）に竹刀検査所にて行うこと。
- ③竹刀検査場の受付時間は
12月14日（金）が14時～17時までとする。
12月15日（土）が9時30分～15時までとする。
- ④鍔は、皮革又は化学製品の円形のものとし、直径は9cm以内とする。なお、鍔止めを必ず使用、鍔を正しく所定の位置に固定すること。また補修用テープを使用してはならない。
- ⑤竹刀の柄への書き込みは、大学名と氏名のみとし、それ以外のものは検査の対象外とする。
- ⑥規格外の竹刀は、16日（日）竹刀検査終了後以降に監督と選手がそろって規格外竹刀を受け取ることにする。
- ⑦中結の位置は竹刀の剣先より全長の1/4の場所にあるようにする。

4. サポーターなどの使用について

- ①サポーター等の使用は、医療上必要と認められる場合に限り、見苦しくなく、かつ相手に危害を加えない範囲において、これを認める。
- ②使用する者は、予め使用品をつけた状態で所定の許可証をタビ・サポーター等許可所（場所は未定）に提示し許可を得ること。なお、布製のみの使用を許可する。
許可証交付所開設期間は
12月14日（金）が14時～17時までとする。
12月15日（土）が9時30分～15時までとする。
- ③上記時間外に新たに必要になった場合は、当該試合場の審判主任の許可を得ること。
- ④タビ・サポーター等を許可なく使用した場合は、不正用具使用者として扱い、負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。

5. 大会要項に違反した者は、その試合は負けとし、相手に2本与え、既得本数及び既得権を認めない。また、その選手その時を以って以後のその日の全試合の出場を認めない。

そ の 他

- 1) 監督不在の場合、ないし出場選手が3名以上の場合、監督代理を1名たてることができる。
- 2) 複数試合場で同一大学の選手が行われている場合、当該大学の付添いは、1試合場に監督又は主務の1名までとし、それ以外は事前に本部に届けられた監督代理とする。
- 3) 面紐の長さは結び目から40センチメートル以下とし、違反者に対しては切断する。面紐の結び目の位置は、「物見（横金の上から6本目と7本目の間）」の後方の後頭部中央部分とする。大会中、結び目の位置が後頭部中央部分より上過ぎる又は下過ぎて安全性に支障があると判断した場合は、つけ直しをする。
- 4) 剣道着の袖の長さは、「肘」が完全に隠れて袖口から露出しないものとする。但し、袖が手ぶとんにかからない程度とする。
- 5) 頭髪が長い場合は、髪を束ねて、背中が目印にかからないようにする。
- 6) ミサンガ、パワーバランスなどの剣道に必要なものはつけない。